

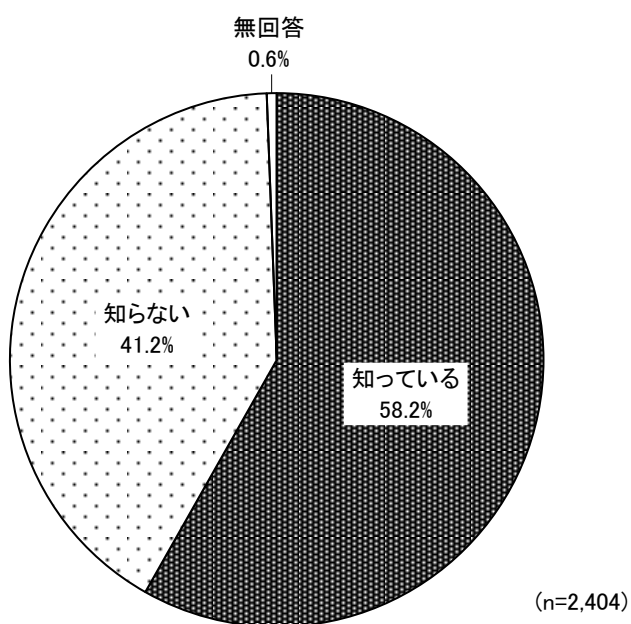
15. ふるさと納税

(1) 「世田谷区民が世田谷区にふるさと納税ができる」ことの認知度

◎「知っている」が6割近く

問41 世田谷区民も世田谷区にふるさと納税（寄附）をすることができ、所得税や住民税の控除も受けることができます。このことを知っていますか。（○は1つ）

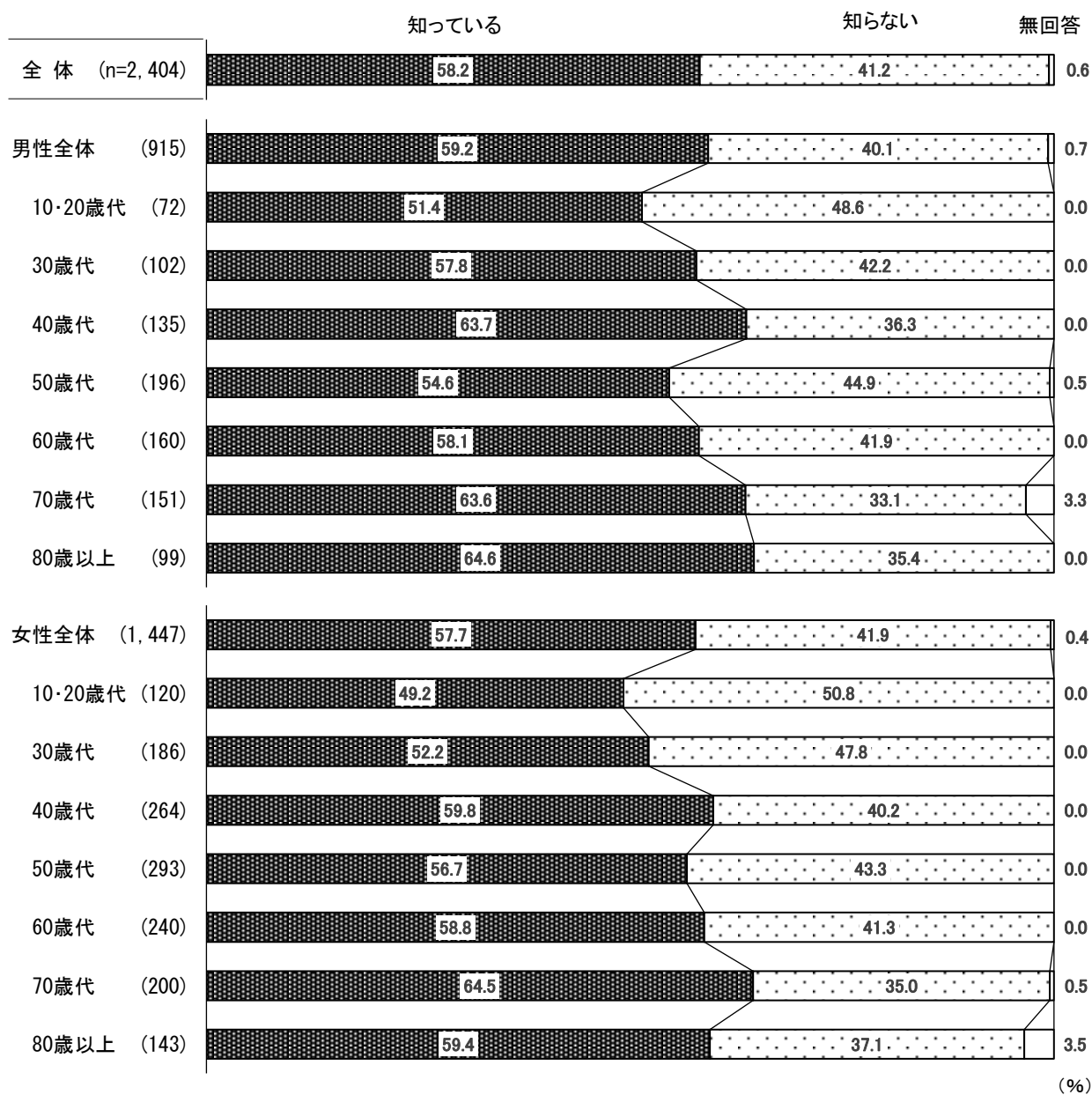
図15-1-1



世田谷区民も世田谷区にふるさと納税をすることができ、税の控除が受けられることを知っているか聞いたところ、「知っている」（58.2%）が6割近く、「知らない」（41.2%）が4割を超えている。（図15-1-1）

図 1 5 - 1 - 2 「世田谷区民が世田谷区にふるさと納税ができる」ことの認知度

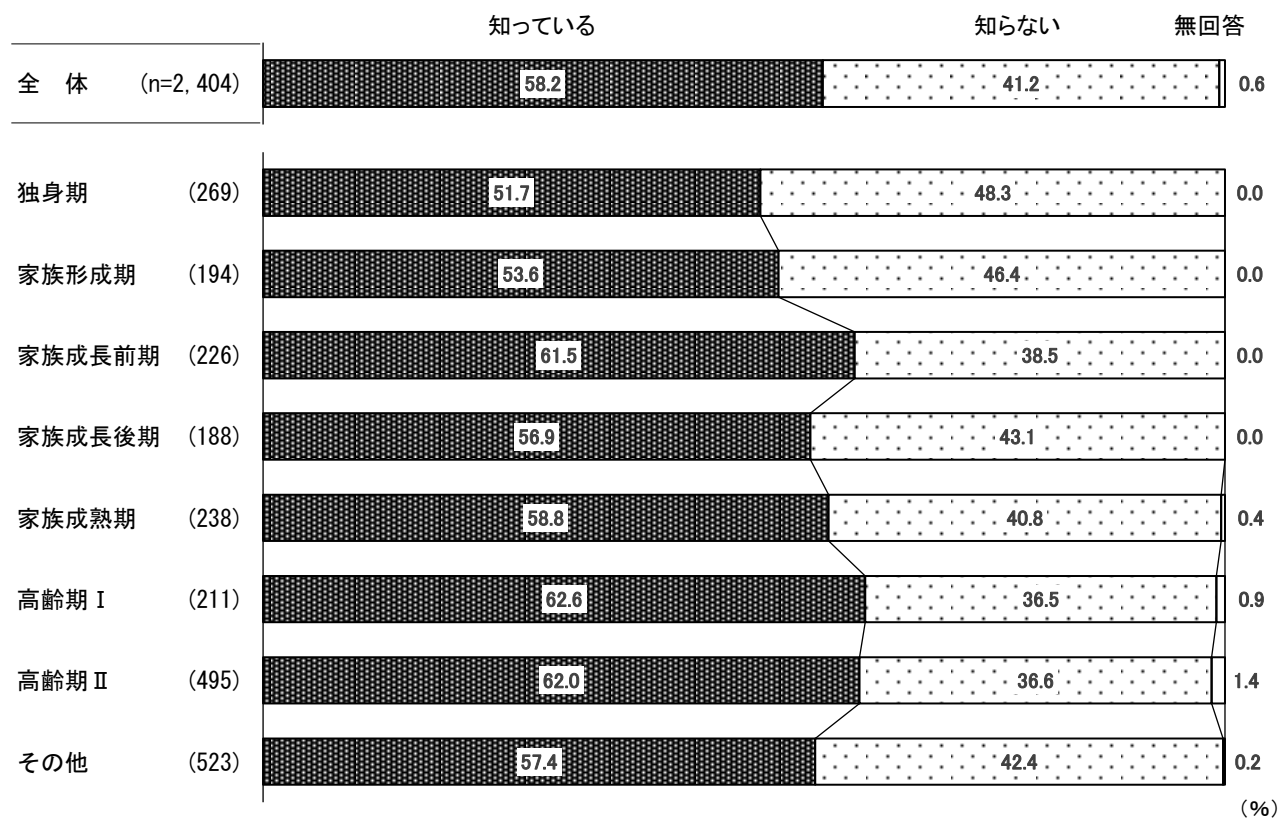
(性・年齢別)



性・年齢別にみると、「知っている」は男性の80歳以上、女性の70歳代で6割半ば、男性の40歳代と70歳代で6割を超え、女性の40歳代で6割、女性の80歳以上ではほぼ6割となっている。

(図 1 5 - 1 - 2)

図 1 5 - 1 - 3 「世田谷区民が世田谷区にふるさと納税ができる」ことの認知度
(ライフステージ別)



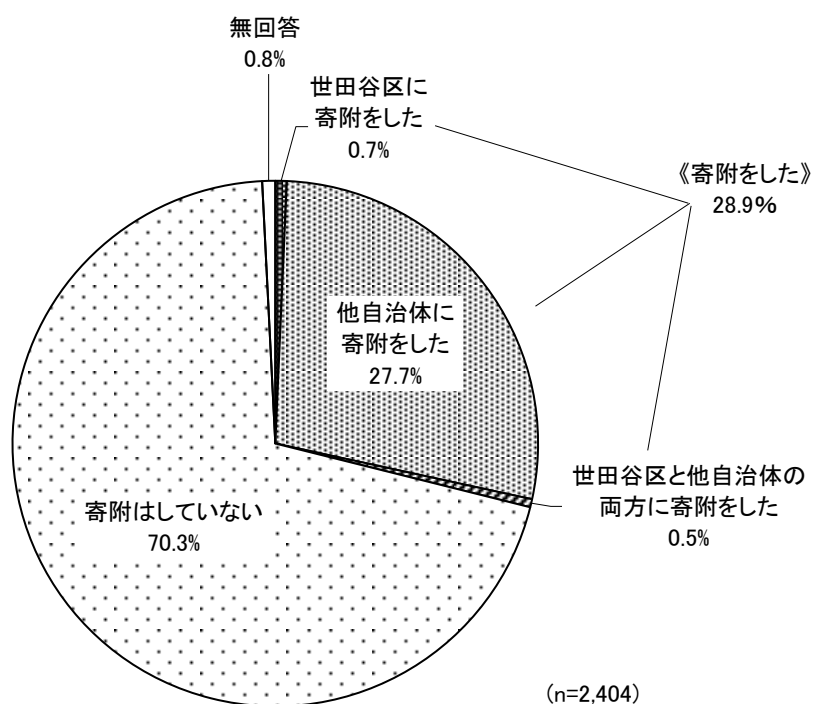
ライフステージ別にみると、「知っている」は家族成長前期、高齢期Ⅰ、高齢期Ⅱで6割を超え、それ以外のライフステージは5割台となっている。(図 1 5 - 1 - 3)

(2)「ふるさと納税」の経験

◎「寄附はしていない」が7割

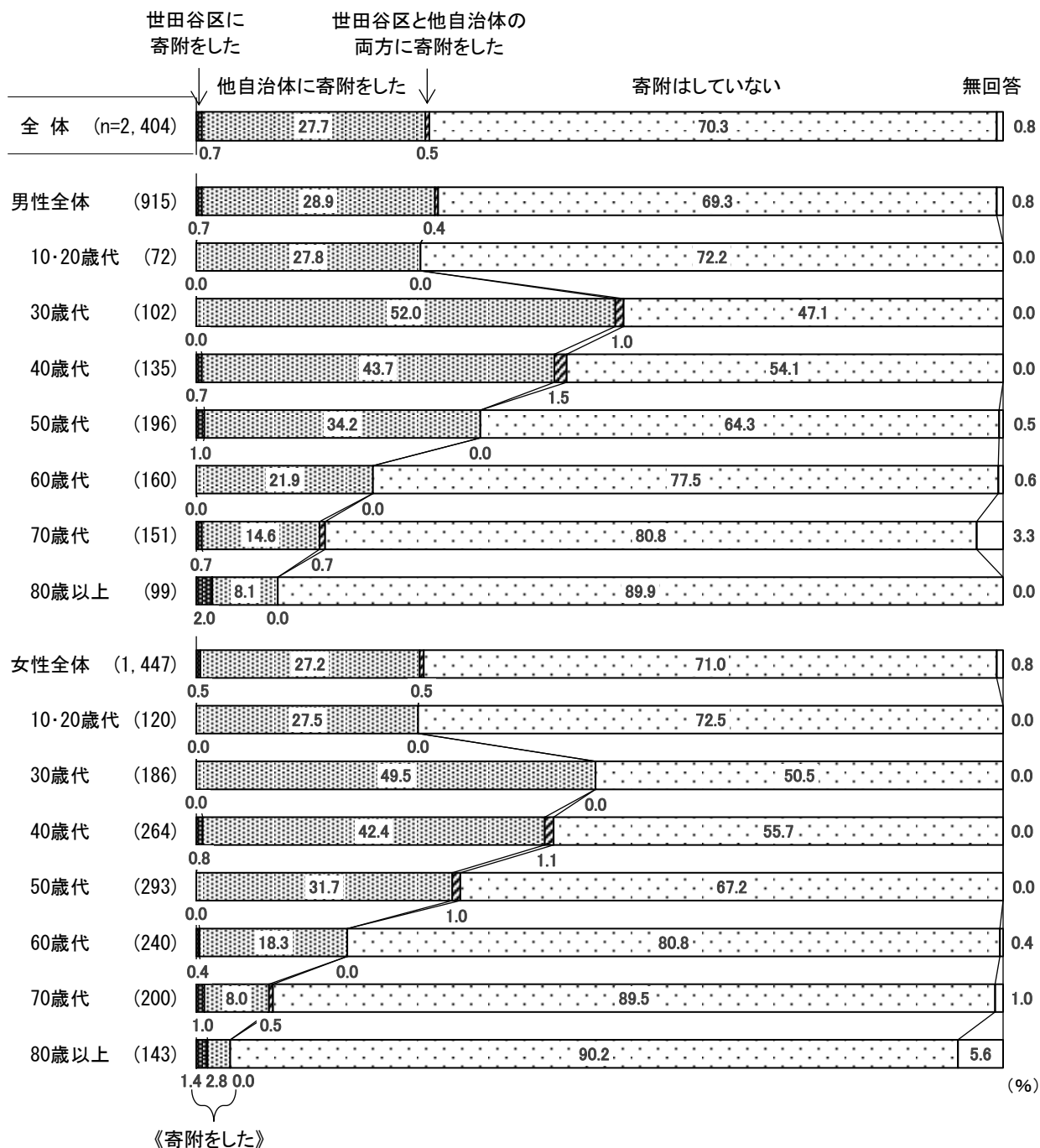
問42 あなたは令和5年にふるさと納税（寄附）をしましたか。（○は1つ）

図15-2-1



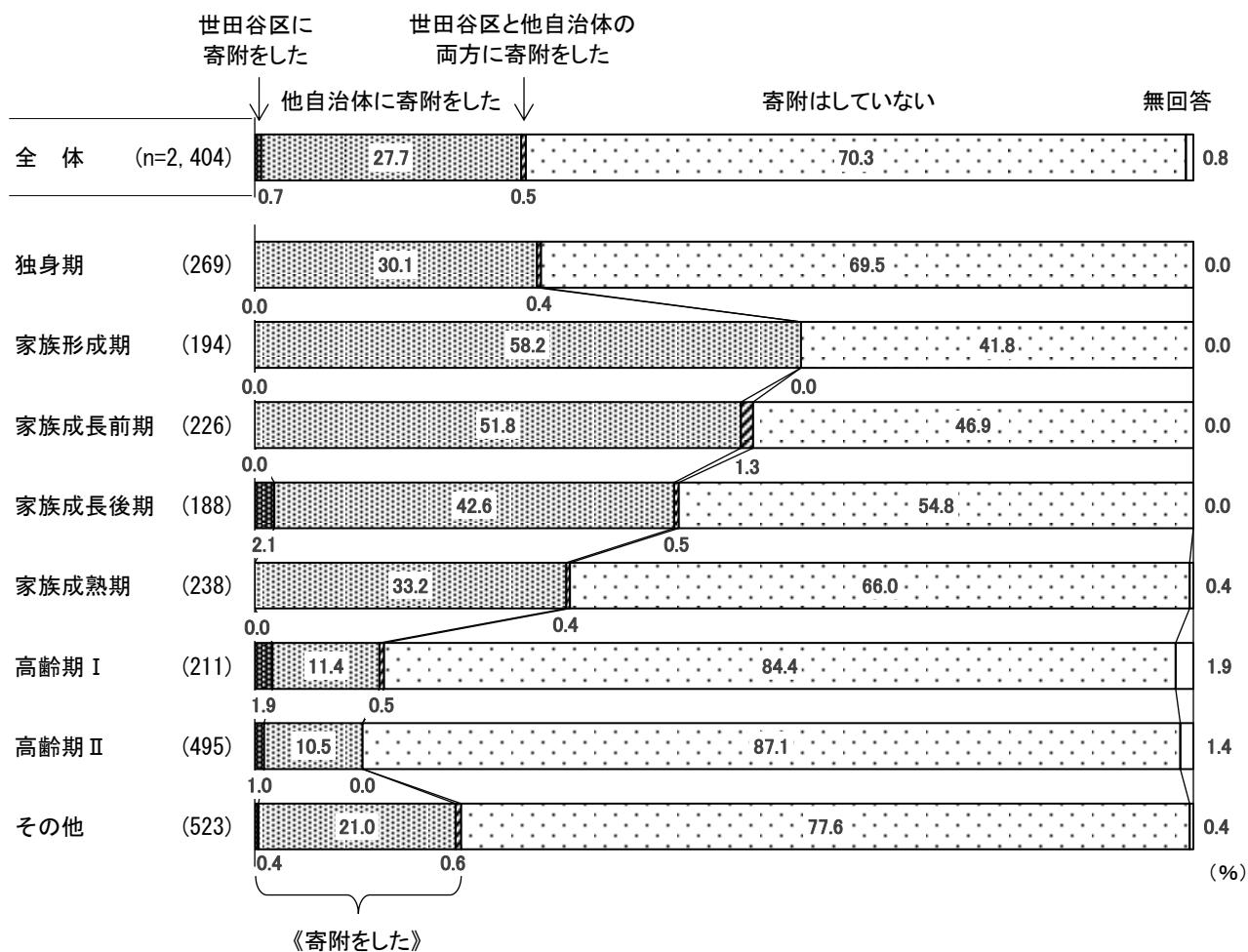
令和5年にふるさと納税をしたか聞いたところ、「寄附はしていない」（70.3%）が7割で最も高い。「他自治体に寄附をした」（27.7%）が3割近くで、「世田谷区に寄附をした」（0.7%）と「世田谷区と他自治体の両方に寄附をした」（0.5%）を合わせた《寄附をした》（28.9%）も3割近くとなっている。（図15-2-1）

図 15-2-2 「ふるさと納税」の経験（性・年齢別）



性・年齢別にみると、男女とも同様の傾向を示し、「他自治体に寄附をした」は30歳代が最も高く、男性で5割を超え、女性で5割となっており、30歳代以降年代が上がるにつれ割合は下がり、40歳代で4割台、50歳代で3割台となっている。「寄附はしていない」は男性の80歳以上と女性の70歳代と80歳以上で9割、男性の70歳代、女性の60歳代でほぼ8割となっている。（図15-2-2）

図 1 5 - 2 - 3 「ふるさと納税」の経験（ライフステージ別）



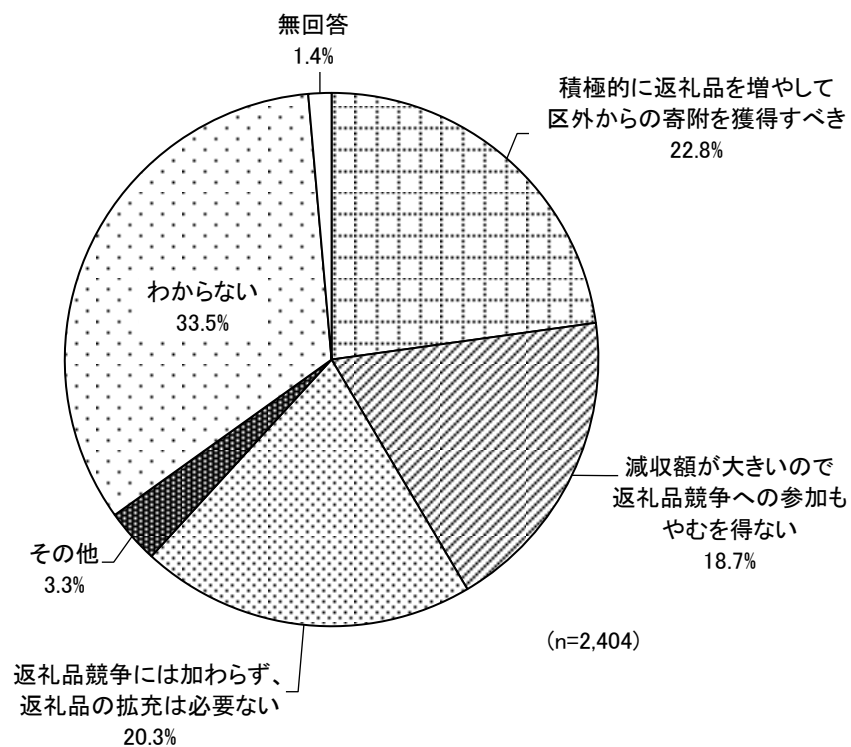
ライフステージ別にみると、「他自治体に寄附をした」は家族形成期で6割近く、家族成長前期で5割を超え、家族成長後期で4割を超え、家族成熟期で3割を超え、独身期で3割となっている。「寄附はしていない」は高齢期Ⅰ、高齢期Ⅱが8割台となっている。（図 1 5 - 2 - 3）

（３）返礼品に関する区の姿勢について

◎「わからない」が３割を超え、「積極的に返礼品を増やして区外からの寄附を獲得すべき」が２割を超える

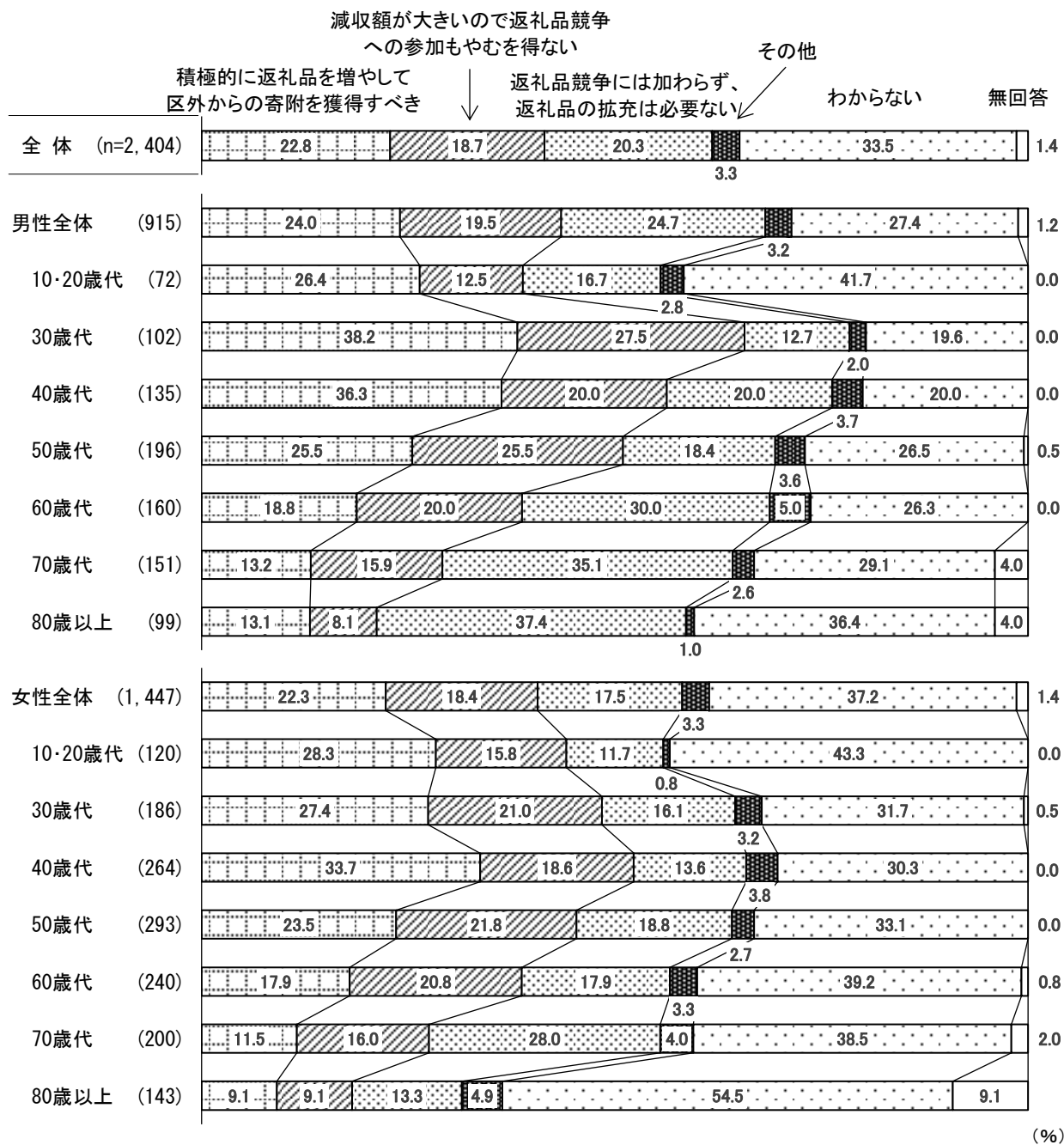
問４３ 制度上、世田谷区から区民の方には返礼品などをお贈りすることはできません。一方、区外からの寄附者へは返礼品をお贈りしています。この区の姿勢として、あなたのお考えに近いものをお選びください。（○は１つ）

図１５－３－１



ふるさと納税の返礼品に関する区の姿勢について聞いたところ、「わからない」（33.5％）が３割を超えて最も高い。「積極的に返礼品を増やして区外からの寄附を獲得すべき」（22.8％）は２割を超え、以下、「返礼品競争には加わず、返礼品の拡充は必要ない」（20.3％）、「減収額が大きいので返礼品競争への参加もやむを得ない」（18.7％）などと続く。（図１５－３－１）

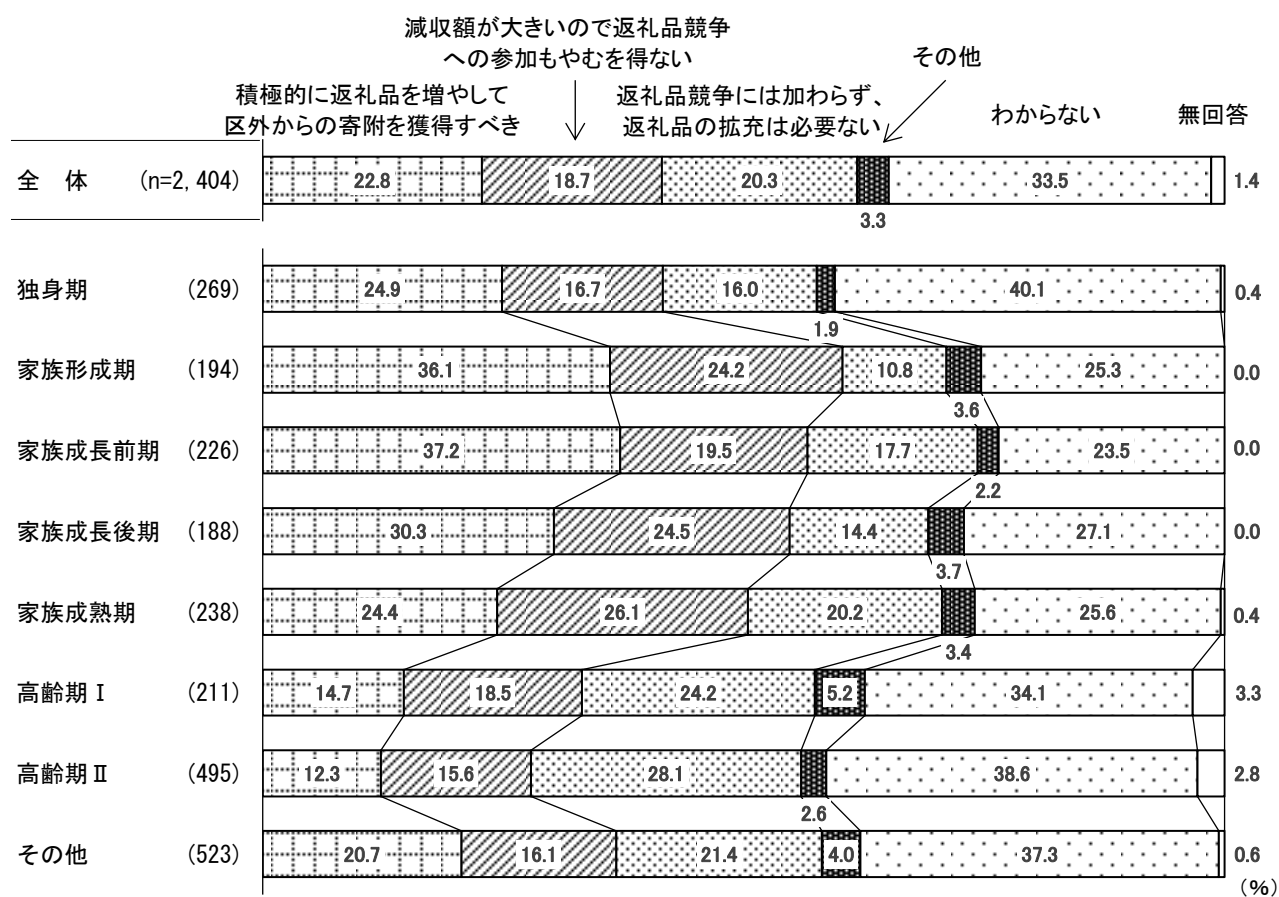
図 1 5 - 3 - 2 返礼品に関する区の姿勢について（性・年齢別）



性・年齢別にみると、「積極的に返礼品を増やして区外からの寄附を獲得すべき」は男性の30歳代で4割近く、男性の40歳代で3割半ば、女性の40歳代で3割を超えている。「減収額が大きいので返礼品競争への参加もやむを得ない」は男性の30歳代で3割近く、男性の50歳代で2割半ばとなっている。一方、「返礼品競争には加わらず、返礼品の拡充は必要ない」は男性の60歳代以上で3割台となっている。「わからない」は各年代とも男性より女性の方が高く、3割台～5割台となっている。

(図 1 5 - 3 - 2)

図 1 5 - 3 - 3 返礼品に関する区の姿勢について（ライフステージ別）



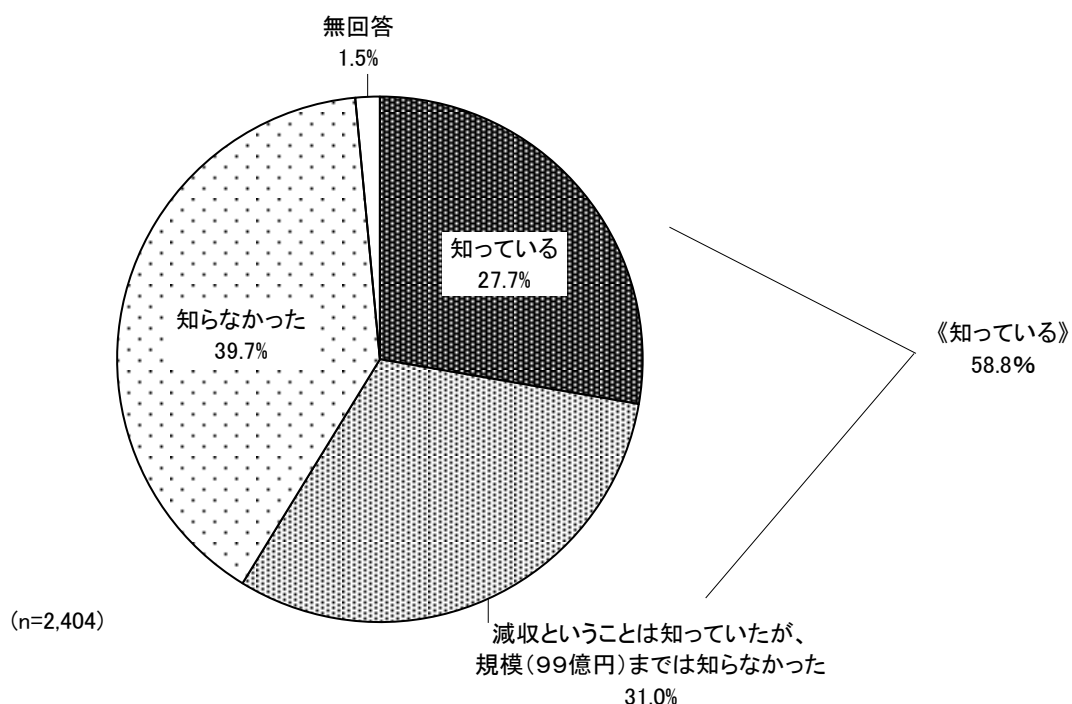
ライフステージ別にみると、「積極的に返礼品を増やして区外からの寄附を獲得すべき」は家族成長前期で4割近く、家族形成期で3割半ば、家族成長後期で3割となっている。「減収額が大きいので返礼品競争への参加もやむを得ない」は家族形成期、家族成長後期、家族成熟期で2割半ばとなっている。一方、「返礼品競争には加わず、返礼品の拡充は必要ない」は高齢期Ⅱで3割近く、高齢期Ⅰで2割半ばとなっている。（図15-3-3）

(4)「ふるさと納税」による区民税の減収額の認知度

◎《知っている》が6割近く

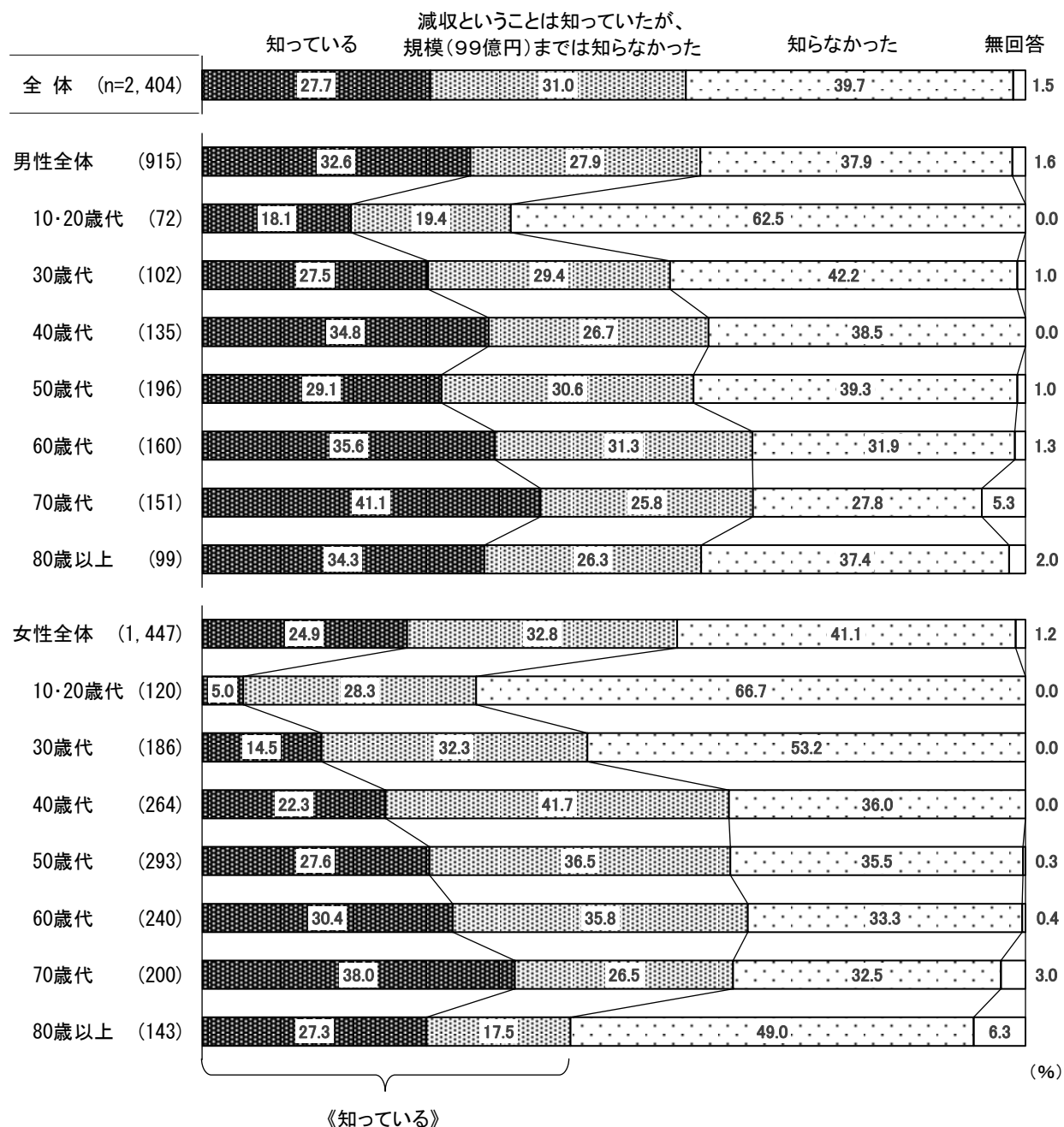
問44 「ふるさと納税」による世田谷区の区民税の減収額は、年々増加し、令和5年度では約99億円に上ります。この現状を知っていますか。(○は1つ)

図15-4-1



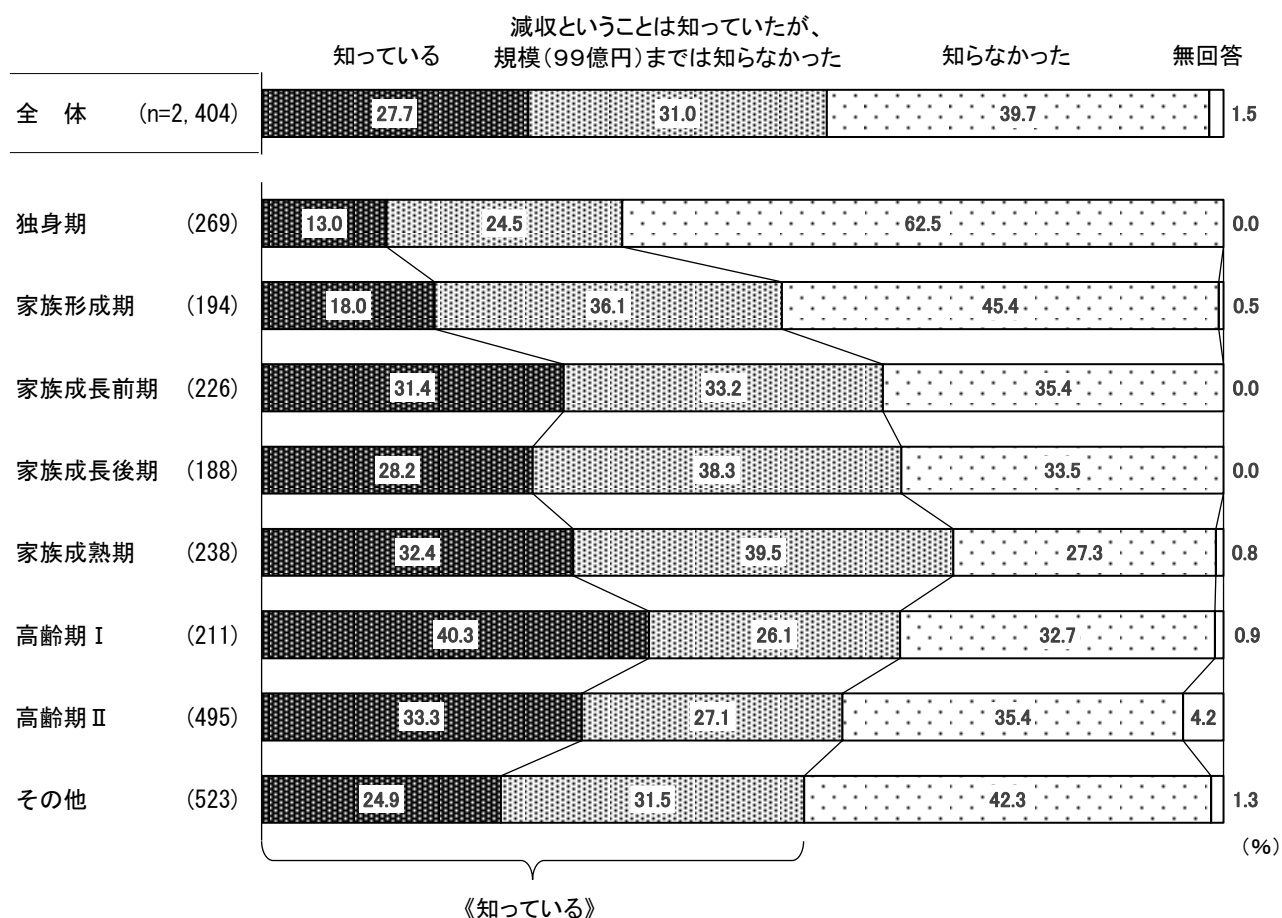
ふるさと納税による世田谷区の区民税の減収額の現状を知っているか聞いたところ、「減収ということは知っていたが、規模(99億円)までは知らなかった」(31.0%)と「知っている」(27.7%)を合わせた《知っている》(58.8%)が6割近くとなっている。一方、「知らない」(39.7%)は4割となっている。(図15-4-1)

図 1 5 - 4 - 2 「ふるさと納税」による区民税の減収額の認知度（性・年齢別）



性・年齢別にみると、「知っている」は男性の70歳代で4割を超え、女性の70歳代で4割近くとなっている。《知っている》は男性の60歳代と70歳代で7割近く、女性の40歳代～70歳代で6割半ばとなっている。「知らなかった」は女性の10・20歳代で7割近く、男性の10・20歳代で6割を超え、女性の30歳代で5割を超えている。（図15-4-2）

図 15-4-3 「ふるさと納税」による区民税の減収額の認知度（ライフステージ別）



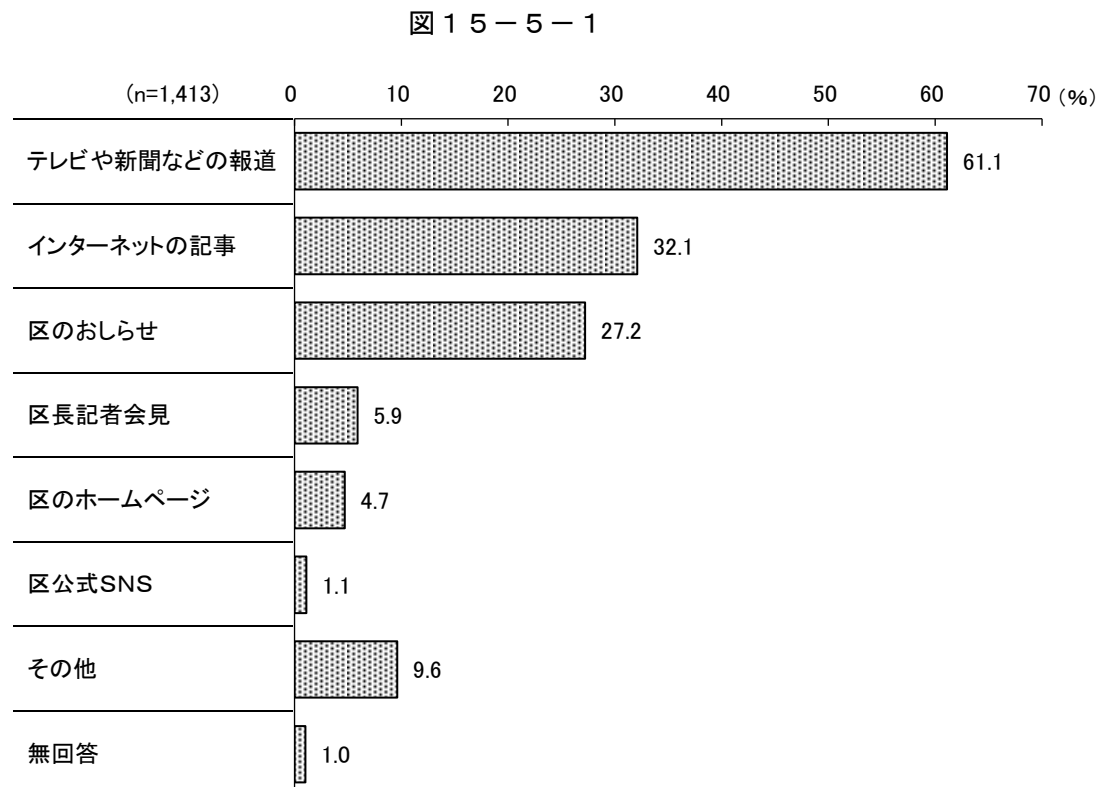
ライフステージ別にみると、「知っている」は高齢期Ⅰで4割となっており、「減収ということは知っていたが、規模（99億円）までは知らなかった」は家族成熟期で4割となっている。《知っている》は家族成熟期で7割を超え、家族成長後期で7割近く、家族成長前期、高齢期Ⅰで6割半ばとなっている。「知らなかった」は独身期で6割を超えている。（図15-4-3）

（５）区民税の減収状況の認知経路

◎「テレビや新聞などの報道」が６割を超える

（問４４で「知っている」または「減収ということは知っていたが、規模（９９億円）までは知らなかった」と答えた方に）

問４４－１ 減収の状況を何でお知りになりましたか。（○はいくつでも）



ふるさと納税による世田谷区の区民税の減収額について「知っている」または「減収ということは知っていたが、規模（９９億円）までは知らなかった」と答えた方（1,413人）に、減収の状況を何で知ったか聞いたところ、「テレビや新聞などの報道」（61.1%）が６割を超えて最も高く、以下、「インターネットの記事」（32.1%）、「区のおしらせ」（27.2%）などと続く。（図 1 5－5－1）

表 1 5 - 5 - 1 区民税の減収状況の認知経路（性・年齢別）

		(%)							
		n	テレビや新聞などの報道	インターネットの記事	区のおしらせ	区長記者会見	区のホームページ	区公式SNS	その他 無回答
全 体		1,413	61.1	32.1	27.2	5.9	4.7	1.1	9.6 1.0
性・年齢別	男性全体	553	64.6	38.5	26.4	5.8	5.4	1.3	7.6 0.7
	10・20歳代	27	48.1	59.3	14.8	11.1	11.1	3.7	14.8 -
	30歳代	58	62.1	67.2	8.6	-	6.9	1.7	5.2 1.7
	40歳代	83	54.2	59.0	10.8	6.0	3.6	-	9.6 1.2
	50歳代	117	61.5	48.7	25.6	6.8	6.8	0.9	7.7 0.9
	60歳代	107	73.8	30.8	19.6	2.8	2.8	0.9	8.4 0.9
	70歳代	101	76.2	15.8	41.6	10.9	5.0	2.0	8.9 -
	80歳以上	60	58.3	5.0	58.3	3.3	6.7	1.7	- -
	女性全体	836	59.1	28.3	27.4	5.9	4.1	1.1	11.0 1.1
	10・20歳代	40	52.5	50.0	2.5	-	-	2.5	20.0 -
	30歳代	87	46.0	46.0	6.9	4.6	2.3	2.3	19.5 -
	40歳代	169	55.0	32.0	17.2	5.9	2.4	1.8	14.8 1.2
	50歳代	188	55.3	37.2	23.4	3.7	3.7	1.1	8.5 1.6
	60歳代	159	67.3	24.5	29.6	4.4	4.4	0.6	6.9 1.9
	70歳代	129	62.8	8.5	55.0	10.1	7.8	-	8.5 0.8
	80歳以上	64	75.0	4.7	48.4	12.5	6.3	-	6.3 -

性・年齢別にみると、「テレビや新聞などの報道」は男性の70歳代、女性の80歳以上で7割半ば、男性の60歳代で7割を超えている。「インターネットの記事」は男性の30歳代で7割近く、男性の40歳代ではほぼ6割となっている。「区のおしらせ」は男女とも70歳代以上が高く、4割台～5割台となっている。（表15-5-1）

なお、基数(n)が30に満たない層については参考値とする。

表 1 5 - 5 - 2 区民税の減収状況の認知経路（ライフステージ別）

(%)

		n	テレビや新聞などの報道	インターネットの記事	区のおしらせ	区長記者会見	区のホームページ	区公式SNS	その他	無回答
	全 体	1,413	61.1	32.1	27.2	5.9	4.7	1.1	9.6	1.0
ライフステージ別	独身期	101	43.6	52.5	10.9	4.0	5.9	5.0	18.8	1.0
	家族形成期	105	54.3	53.3	6.7	5.7	3.8	-	11.4	-
	家族成長前期	146	56.8	41.8	16.4	4.8	2.7	0.7	11.0	1.4
	家族成長後期	125	53.6	40.0	23.2	5.6	1.6	0.8	14.4	2.4
	家族成熟期	171	67.8	38.0	25.7	1.8	5.3	0.6	5.3	0.6
	高齢期Ⅰ	140	67.1	16.4	41.4	10.0	7.1	1.4	7.1	-
	高齢期Ⅱ	299	70.2	13.0	47.2	6.4	5.4	0.3	6.7	0.7
	その他	295	59.3	34.2	20.7	7.8	4.4	1.4	10.5	1.4

ライフステージ別にみると、「テレビや新聞などの報道」は高齢期Ⅱで7割、家族成熟期、高齢期Ⅰで7割近くとなっている。「インターネットの記事」は独身期、家族形成期で5割を超え、「区のおしらせ」は高齢期Ⅱで5割近く、高齢期Ⅰで4割を超えている。（表 1 5 - 5 - 2）